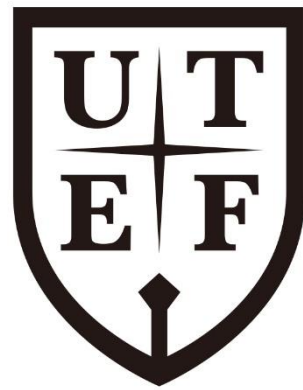


令和 8 年 度

入 学 者 選 拔 要 項



福 岡 教 育 大 学

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp>

## 令和8年度福岡教育大学入学者選抜試験日程一覧表

		出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期限
一般選抜	前期日程	令和8年 1月26日(月) ～ 2月4日(水)	令和8年 2月25日(水) ～ 2月26日(木)	令和8年 3月6日(金)	令和8年 3月15日(日) まで
	後期日程		令和8年 3月12日(木) ～ 3月13日(金)	令和8年 3月20日(金)	令和8年 3月27日(金) まで
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜Ⅰ (大学入学共通テストを課さない)	令和7年 11月4日(火) ～ 11月10日(月)	令和7年 11月29日(土) ～ 11月30日(日)	令和7年 12月10日(水)	令和7年 12月24日(水) まで
	学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す)			令和8年 2月9日(月)	令和8年 2月18日(水) まで
私費外国人留学生選抜		令和8年 1月26日(月) ～ 2月4日(水)	令和8年 2月25日(水) ～ 2月26日(木)	令和8年 3月6日(金)	令和8年 3月27日(金) まで

※試験日程等に変更がある場合は、本学ホームページ等でお知らせいたします。

# 目 次

福岡教育大学教育学部のアドミッション・ポリシー	1
I. 課程・募集人員及び入学定員	5
II. 入学者選抜方法等	6
III. 一般選抜	6
IV. 学校推薦型選抜 I (大学入学共通テストを課さない)	11
V. 学校推薦型選抜 II (大学入学共通テストを課す)	15
VI. 実技検査の内容について	18
VII. 私費外国人留学生選抜	29
VIII. 障害等のある入学志願者の事前相談について	32
IX. 学生募集要項の公表	34
X. 入学者選抜試験個人成績の開示について	34
(参考) 令和7年度教育学部入学試験状況	35
(参考) 令和7年度教育学部入学試験の合格最高点・合格最低点及び合格者の平均点一覧	36
大学所在地【交通機関】【周辺道路地図】	
福岡教育大学キャンパス・マップ	福岡教育大学各種お問い合わせ先

## 福岡教育大学教育学部のアドミッション・ポリシー

福岡教育大学は、教員養成の広域拠点大学として、これからの学校教育において、さまざまな課題の解決等に率先して取り組むことのできる教員、具体的には、

- ・ 幼児・児童・生徒の発達、自律を支援できる教員
- ・ 義務教育段階での学習の流れを見通すと同時に、幼児・児童・生徒との相互のコミュニケーションを活性化させ、深い学びへ導くことができる教員
- ・ 幼児・児童・生徒の発達を理解するとともに、個々の子どもを客観的に理解できる教員

の養成を使命としています。そのために学士課程においては、学校教育現場において求められる、1) 幅広い視野と豊かな教養、2) 高い専門性、3) 確かな実践力を培い、各学校で活躍できる人材を育てることを目標にしています。これらを実現するために本学では、各学校の教員に求められる専門性と実践的指導力を確実に身に付けるカリキュラムを編成しています。

<福岡教育大学では、次のような人の受験を期待します。>

- ◎教員を目指す強い意志と情熱をもち、子どもの発達や学習の支援、子どもの様々な行動のマネジメントなどに対する関心があり、主体的・積極的に、さらには、多様な人々と協働して、教員となるために必要な学修に取り組むことができる人。
- ◎高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同様。）の各教科・科目等において取り扱われる知識・技能を全般的に身に付けているとともに、それらを活用して、論理的に思考し、判断し、さらに自分の考え等を他の者に対して説明するなどの表現力があると同時に、課題解決に向けて根気よく取り組むことができる人。  
さらに、中等教育段階の教員（特別支援学校を含む。）を目指す場合は、教員となって担当しようとする教科、科目に関する学力を十分に身に付けている人。
- ◎自分とは異なる価値観や考えをもつ人とも接することができるコミュニケーション力や協調性を備え、組織的な活動の中で自らの責任を果たすことのできる人。
- ◎初等教育教員養成課程、特別支援教育教員養成課程初等教育プログラムでは、すべての教科等を教育することができる基礎的な知識が備わっているとともに、教科等横断的、異分野融合的な知を修得できる柔軟な思考力が備わっている人。さらには、小学校における教科担任制にも対応できる基礎的な知識が備わっている人。
- ◎中等教育教員養成課程、特別支援教育教員養成課程中等教育プログラムでは、特定の教科を教育することができる基礎的な知識が備わっている人。さらには、教科等横断的、異分野融合的な知を修得できる柔軟な思考力が備わっている人。

<福岡教育大学の入学者選抜では、次のような力を評価します。>

ディプロマ・ポリシーに掲げた内容の修得には、教職への意欲があることを前提として、高等学校段階までに身に付けるべき基礎的な知識及び技能を身に付けており、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等、および主体的に学修に取り組む態度が身につけていることが求められますので、本学では、すべての入試区分において、これらの要素が身につけているか否かを評価します。

以下では、募集単位ごとに、入学者選抜において課す科目等およびそれぞれで主に評価する点を示します（表中の※がついた科目については、「高度な記述式問題」を含みます）。また、「科目等」の欄に「調査書」がある場合には、調査書の「全体の学習成績の状況」が一定以上であれば、一定の点数を加算することを示します。

なお、個別学力試験等で課す「小論文」では、高等学校段階において本学が期待する学習の到達度を基礎とした思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価します。また「面接」では、教職への意欲、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価します（高等学校長からの調査書を活用する場合があります。）。

(別紙) 入学者選抜において課す科目等およびそれぞれで主に評価する点

1. 大学入学共通テスト

課程・プログラム・専攻等	試験	科目等	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性
全課程共通	大学入学共通テスト		○	○	

2. 個別学力検査等

課程・プログラム・専攻等	試験	科目等 (※:「高度な記述式問題」含む)	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性	教職への意欲	コミュニケーション力	備考			
初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム	推薦Ⅰ	面接	○	○	○	○	前期については、調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について5点加点を行う。			
		前期日程	小論文 ※ 調査書	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○				
	小学校教育専攻プログラム	推薦Ⅰ	前期日程	小論文 ※ 面接	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○	前期および後期については、調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行う。	
			後期日程	小論文 ※ 調査書	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○		
		推薦Ⅱ	前期日程	面接 調査書・志望理由書	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○		調査書、志望理由書を総合して教職への意欲等を評価し、最大25点加点する。
			後期日程	小論文 ※ 調査書・志望理由書	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○		
	人文・社会教育プログラム	推薦Ⅱ	前期日程	(国語系科目) 国語 ※ 調査書・志望理由書	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○			
			前期日程	(社会科系科目) 小論文 ※ 調査書・志望理由書	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○			
		後期日程	(英語系科目) 英語 ※ 調査書・志望理由書	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○				
			小論文 ※ 調査書・志望理由書	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○				
	理数教育プログラム	(数学系科目) 前期日程	数学 ※ 面接	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	後期の面接は、数学または理科に関する口頭試問を含む。			
			(理科系科目) 前期日程	理科 ※ 面接	○ ○	○ ○	○ ○				
		後期日程	小論文 ※ 面接(口頭試問を含む。)	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○				
			芸術・実技教育プログラム	音楽系科目	推薦Ⅰ	小論文 実技検査 面接 音楽理論 ※ 調査書 注1	○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	・推薦Ⅰにおいてプログラム共通の小論文を課す。 ・調査書については、欄外「注1」のとおり。
	前期日程	実技検査 面接 音楽理論 ※ 調査書 注1	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○					
		美術系科目	推薦Ⅰ		小論文 実技検査 面接 調査書 注1	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	・推薦Ⅰにおいてプログラム共通の小論文を課す。 ・調査書については、欄外「注1」のとおり。	
	前期日程				小論文 ※ 実技検査 面接 調査書 注1	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○			

課程・プログラム・専攻等			試験	科目等 (※:「高度な記述式問題」含む)	知識・ 技能	思考力・判断 力・表現力	主体性	教職へ の意欲	コミュニ ケーション力	備考
初等 教育 教員 養成 課程	芸術・ 実技教育 プログラム	体育系科目	推薦 I	小論文	○	○		○		・推薦 I においてプログラム共通の小論文を課す。 ・調査書については、欄外「注1」のとおり。
				実技検査	○	○				
				面接	○		○	○	○	
		前期日程	調査書 注1	○	○					
				実技検査	○	○				
				面接	○		○	○	○	
	保健体育に関する理論 ※ 調査書 注1	○	○							
		○	○							
		○	○							
	家庭系科目	推薦 I	小論文	○	○			○		・推薦 I においてプログラム共通の小論文を課す。 ・調査書については、欄外「注1」のとおり。
				面接	○		○	○	○	
				口頭試問	○	○	○		○	
前期日程		調査書 注1	○	○						
			小論文 ※	○	○	○				
			面接	○		○	○	○		
調査書 注1	○	○								
	○	○								
	○	○								
技術ものづく り系科目	推薦 I	小論文	○	○			○		・推薦 I においてプログラム共通の小論文を課す。 ・総合面接は、小論文と口頭試問を含む。 ・調査書については、欄外「注1」のとおり。	
			面接	○		○	○	○		
			総合面接 ※	○	○	○	○	○		
	前期日程	調査書 注1	○	○						
			面接	○		○	○	○		
			総合面接 ※	○	○	○	○	○		
調査書 注1	○	○								
	○	○								
	○	○								
中等 教育 教員 養成 課程	中等教育 プログラム	国語専攻	前期日程	国語 ※	○	○	○		○	調査書、志望理由書を総合して教職への意欲等を評価し、最大25点加点する。
				調査書・志望理由書	○	○	○	○	○	
	社会科専攻	前期日程	小論文 ※	○	○	○			○	調査書、志望理由書を総合して教職への意欲等を評価し、最大25点加点する。
			調査書・志望理由書	○	○	○	○	○		
	数学専攻	前期日程	数学 ※	○	○					
			面接			○	○	○		
		後期日程	数学 ※	○	○					
			面接			○	○	○		
	理科専攻	前期日程	理科 ※	○	○					
			面接			○	○	○		
	後期日程	小論文 ※	○	○						
		面接 (口頭試問を含む。)	○	○	○	○	○			
	英語専攻	前期日程	英語 ※	○	○	○			○	調査書、志望理由書を総合して教職への意欲等を評価し、最大25点加点する。
			調査書・志望理由書	○	○	○	○	○		
音楽専攻	推薦 I	小論文	○	○			○		調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行う。	
			実技検査	○	○	○		○		
			音楽理論 ※	○	○					
	前期日程	調査書	○	○						
			小論文	○	○		○			
			実技検査	○	○	○		○		
音楽理論 ※	○	○								
	調査書	○	○							

課程・プログラム・専攻等			試験	科目等 (※:「高度な記述式問題」含む)	知識・ 技能	思考力・判断 力・表現力	主体性	教職へ の意欲	コミュニ ケーション力	備考
中等教育 教員養成課程	中等教育 プログラム	美術専攻	推薦Ⅰ	実技検査	○	○				調査書について、配点は10点とし、以下①②の合計とする。 ①学習成績の状況が4.5以上の者について5点加点を行う。 ②芸術に関する活動（作品展、コンクール受賞歴など）、あるいはボランティア活動等の多様な実績を評価し、0点～5点までの範囲内で点数化する。
				面接			○	○	○	
				美術理論 ※ 調査書	○	○				
		前期日程	小論文 ※	○	○					
			実技検査	○	○					
			面接 調査書	○	○	○	○	○		
	保健体育専攻	推薦Ⅰ	小論文	○	○				調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行う。	
			実技検査	○	○					
			面接(口頭試問を含む。) 調査書	○	○	○	○	○		
		前期日程	実技検査	○	○					
			面接	○	○	○	○	○		
			保健体育に関する理論 ※ 調査書	○	○	○	○	○		
	家庭専攻	推薦Ⅱ	面接(口頭試問を含む。)	○	○	○	○	○		
		前期日程	小論文 ※	○	○	○	○	○		
	技術専攻	推薦Ⅰ	総合面接 ※	○	○	○	○	○	○	・総合面接は小論文、口頭試問を含む。 ・面接は資料作成を含む。
		前期日程	面接 ※	○	○	○	○	○	○	
	書道専攻	推薦Ⅰ	小論文 ※	○	○				調査書は、国語の学習成績の状況が4.0以上の者について10点加点を行う。	
			実技検査	○	○					
面接(口頭試問を含む。) 調査書			○	○	○	○	○			
前期日程		小論文 ※	○	○						
		実技検査	○	○						
		面接 調査書	○	○	○	○	○			
特別支援教育初等教育 プログラム	推薦Ⅱ	面接(口頭試問を含む。) 調査書		○	○	○	○	○	・推薦Ⅱ及び後期においては、調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行う。 ・前期の面接は、ABCの3段階で評価する。	
		前期日程	小論文 ※		○					
		後期日程	小論文 ※ 調査書		○	○	○	○		
	特別支援教育中等教育 プログラム	前期日程	小論文 ※		○					・前期の面接は、ABCの3段階で評価する。 ・後期においては、調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点を行う。
		後期日程	小論文 ※ 調査書		○	○	○	○		
		後期日程	小論文 ※ 調査書		○	○	○	○		

注1：調査書について、配点は10点とし、以下①②の合計とする。

①学習成績の状況が4.5以上の者について5点加点を行う。

②芸術に関する活動（作品展、コンクール受賞歴など）、体育・スポーツ活動、家庭科に関する活動、技術ものづくりに関わるこれまでの取り組み、あるいはボランティア活動等の多様な実績を評価し、0点～5点までの範囲内で点数化する。

# I. 課程・募集人員及び入学定員

募集人員及び入学定員		募 集 人 員				入学定員計	募集人員	
		一般選抜 (前期日程)	一般選抜 (後期日程)	学校推薦型 選抜Ⅰ (大学入学共通 テストを課さない)	学校推薦型 選抜Ⅱ (大学入学共通 テストを課す)			
課程及びプログラム・専攻等								
初等教育 教員養成課程	幼児教育プログラム	12名		8名		385名	若干名	
	小学校教育専攻プログラム	46名		15名	24名			
	人文・社会教育 プログラム 【注1】【注2】	(国語系科目)	75名	25名程度	30名			10名
		(社会科系科目)		25名程度				
		(英語系科目)		25名程度				
理数教育 プログラム 【注1】【注2】	(数学系科目)	51名	23名程度	14名				
	(理科系科目)		28名程度					
芸術・実技教育 プログラム 【注1】【注2】	(音楽系科目)	60名	10名程度	40名	10名程度			
	(美術系科目)		10名程度		10名程度			
	(体育系科目)		20名程度		10名程度			
	(家庭系科目)		13名程度		7名程度			
	(技術ものづくり系科目)		7名程度		3名程度			
中等教育 教員養成課程	中等教育 プログラム	国語専攻	12名			170名		
		社会科専攻	12名					
		数学専攻	20名	8名				
		理科専攻	27名	8名				
		英語専攻	10名					
		音楽専攻	8名		7名			
		美術専攻	5名		5名			
		保健体育専攻	12名		6名			
		家庭専攻	7名		3名			
		技術専攻	8名		2名			
		書道専攻	7名		3名			
特別支援教育 教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	25名		10名	5名	60名		
	特別支援教育中等教育プログラム	14名		6名				
合 計		411名	91名	95名	18名	615名		

注1  
初等教育教員養成課程の次のプログラムでは、1年次から主専攻(小学校教育)について学修し、副専攻については、入学後(2年進級時)に下表に示す領域のうちから選択して学修します。なお、副専攻の領域には受け入れが可能な人数の上限がありますので、希望通りに選択できない場合があります。

対象の課程及びプログラム名	副専攻の領域
初等教育教員養成課程 人文・社会教育プログラム	国語領域, 社会領域, 英語領域
初等教育教員養成課程 理数教育プログラム	数学領域, 理科領域
初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム	音楽領域, 美術領域, 保健体育領域, 家庭領域, 技術領域

注2  
初等教育教員養成課程人文・社会教育プログラム及び理数教育プログラムの前期日程、また同芸術・実技教育プログラムでは、個別学力検査等において選択する受験科目パターンごとに募集人員の目安を示しています。



## Ⅱ. 入学者選抜方法等

### 1. 一般選抜

詳細は以下、Ⅲ. 一般選抜を参照してください。

### 2. 学校推薦型選抜

詳細は11～17ページを参照してください。

### 3. 私費外国人留学生選抜

詳細は29～31ページを参照してください。

### 4. その他選抜

本学では総合型選抜，専門学科・総合学科卒業生選抜，帰国生徒選抜，社会人選抜は実施しません。

## Ⅲ. 一般選抜

※詳細については、12月上旬に学生募集要項（一般選抜）で公表します。

- |          |                              |
|----------|------------------------------|
| 1. 出願期間  | 令和8年1月26日（月）～2月 4日（水）        |
| 2. 試験期日  | （前期日程）令和8年 2月25日（水）・2月26日（木） |
|          | （後期日程）令和8年 3月12日（木）・3月13日（金） |
| 3. 合格者発表 | （前期日程）令和8年 3月 6日（金）          |
|          | （後期日程）令和8年 3月20日（金）          |

### 4. 選抜方法等

- （1）合格者の選考は，大学入学共通テスト（大学入学共通テストの成績は，令和8年度大学入学共通テストの成績を用いる。）及び本学が実施する個別学力検査等の成績と調査書，その他提出書類等を総合して行います。
- （2）大学入学共通テストと個別学力検査等の成績の総合計得点順に合否を決定します。
- （3）面接の評価は原則として点数により行います。
- （4）合格最低点での同点者は，全員合格とします。
- （5）各課程の入学定員に欠員が生じた場合には，上記の基準により総合計得点の高い順に追加合格者を決定します。追加合格における同点者については，個別学力検査の高得点者の順に順位を付けます。

※本学では2段階選抜は実施していません。

※欠員補充は追加合格者により補充しますが，さらに必要と認める場合は欠員補充第2次募集を行います。

### 5. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し，かつ本学が指定した令和8年度大学入学共通テスト（8ページ参照）の全教科・科目を受験した者

- （1）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
- （2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者
- （3）学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※本学に入学を志願する者で入学資格の認定を希望する者は，ホームページの「入学者選抜に係る入学資格審査実施要領」に従い，手続を行ってください。

入学資格審査の対象となるのは、我が国における12年の学校教育の高等学校に対応する外国人学校の課程を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者です。ただし、これら以外の者であっても、各種の学校等における学習歴や単位取得の実績等が高等学校卒業と同等以上であると認められる者については、個別の入学資格審査の対象とします。詳細については以下のページからご確認ください。

[https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/list\\_examination.html](https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/list_examination.html)

## 6. 出願時の留意事項

本学の一般選抜は、すべての課程とも分離・分割方式（前期日程及び後期日程）により実施しますが、初等教育教員養成課程及び中等教育教員養成課程の中で、前期日程のみ実施するプログラム・専攻等があります。出願（併願）にあたっては以下の点に注意してください。

◎志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つを選び、合計二つの大学・学部に出願することができます。

従って、本学の「前期日程」に出願する者は、本学又は他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「後期日程」に出願することができます。

また、本学の「後期日程」に出願する者は、本学又は他の国公立大学・学部の「前期日程」に出願することができます。

◎「前期日程」の試験に合格し、所定の期日までに入学手続を完了した者は、「後期日程」の大学・学部の試験を受験しても、それらの大学・学部の合格者とはなりません。

## 7. 入学者選抜の実施教科・科目等

一般選抜で、本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目及び本学の実施する個別学力検査等は、【別表1】及び【別表2】のとおりです。

## 8. 「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも一部改変することもあります。なお、使用した過去問題は本学ホームページでお知らせいたします。

「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧については、以下のページからご確認ください。

<https://www.nyushikakomon.jp/>

## 【別表1】大学入学共通テストの教科・科目名・配点等

◎ 令和8年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定する教科・科目を受験していなかった場合は、前期日程、後期日程においては、個別学力検査等の受験を認めません。学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）においては、選抜の対象としません。

科目パターン	教科	配点	グループ	出題科目名等
<b>A</b> (文系型)	国語	200		『国語』（必須）
	地理歴史	200		『地理総合、地理探究』，『歴史総合、日本史探究』，『歴史総合、世界史探究』， 『地理総合／歴史総合／公共』
	公民		『公共、倫理』，『公共、政治・経済』，『地理総合／歴史総合／公共』から1出題科目	
	数学	100	①	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅰ』から1出題科目
		100	②	『数学Ⅱ，数学B，数学C』（必須）
	理科	100		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』， 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』
	外国語	200		『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から1出題科目
	情報	100		『情報Ⅰ』（必須）
〔7教科8出題科目〕				
<b>B</b> (理系型)	国語	200		『国語』（必須）
	地理歴史 公民	100		『地理総合、地理探究』，『歴史総合、日本史探究』，『歴史総合、世界史探究』， 『地理総合／歴史総合／公共』
			『公共、倫理』，『公共、政治・経済』，『地理総合／歴史総合／公共』	
	数学	100	①	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅰ』から1出題科目
		100	②	『数学Ⅱ，数学B，数学C』（必須）
	理科	200		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』， 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』
	外国語	200		『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から1出題科目
情報	100		『情報Ⅰ』（必須）	
〔6教科8出題科目〕				

### 【注意事項】

- 「地理歴史」及び「公民」について、『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合、出題範囲のうちいずれか2科目を選択する。また、2出題科目を選択する場合、以下に留意した組合せとする。
  - 『地理総合／歴史総合／公共』を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の選択をすることはできない。
- 「数学」において、グループ①の2出題科目のうちから1出題科目を選択する。グループ②については『数学Ⅱ，数学B，数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列，統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル，平面上の曲線と複素数平面）のうち、3項目の内容の問題を選択し解答する。
- 「理科」において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合、出題範囲4科目のうち、いずれか2科目の内容の問題を選択し解答する。『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含め、2出題科目を受験する場合、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』で選択した科目と、同一名称を含む出題科目の組合せを選択することはできない。「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，「生物基礎」と「生物」及び「地学基礎」と「地学」の組合せをいう。
- 「外国語」において『英語』を受験（選択解答）した者は、リーディングとリスニングの両方の成績を利用する（成績利用時のリーディング及びリスニングの配点比率は1：1とする。またリスニングを欠席した場合はリスニングの得点は0点として取り扱う）。ただし、大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングの受験が免除された者については、リーディングの得点を2倍にした成績を採用する。
- 「地理歴史」及び「公民」，又は「理科」において、指定した教科・出題科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を採用する。ただし、募集単位により科目パターンが指定されている場合（Aパターンの場合は「理科」，Bパターンの場合は「地理歴史」及び「公民」）は、解答順に、前半60分で受験した科目を第1解答科目，後半60分で受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の成績を採用する。

**【別表2】一般選抜 大学入学共通テスト・個別学力検査等の科目・配点等**

◎令和8年度一般選抜において、本学が実施する個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は選抜の対象としません。

課程及びプログラム・専攻等	学力検査等の区分	募集人員	大学入学共通テスト科目パターン【別表1参照】	大学入学共通テスト配点合計	個別学力検査等の配点等											大学入学共通テスト・個別学力検査等配点合計	
					科目名等	国語	数学	理科	英語	小論文	実技検査	面接等	理論	調査書等	配点合計		
幼児教育プログラム	前期	12名	A又はB	1000	小論文調査書 ※①					200					5	205	1205
小学校教育専攻プログラム	前期	46名	A又はB	1000	小論文調査書 ※②					200					10	210	1210
	後期	15名	A又はB	1000	小論文調査書 ※②					200					10	210	1210
人文・社会教育プログラム	前期	75名	A	1000	国語 ※③ 志望理由書・調査書 ※④	300									25	325	1325
					小論文 志望理由書・調査書 ※④					300				25	325	1325	
					英語 ※⑤ 志望理由書・調査書 ※④				300					25	325	1325	
	後期	30名	A	1000	小論文 志望理由書・調査書 ※④					200				25	225	1225	
理数教育プログラム	前期	51名	B	1000	数学 ※⑥ 面接		400					100				500	1500
					理科 ※⑦ 面接			400			100				500	1500	
	後期	14名	B	1000	小論文 面接等 ※⑧					100		400			500	1500	
芸術・実技教育プログラム	前期	60名	A又はB	1000	実技検査 面接 音楽理論 ※⑨ 調査書 ※⑩						300	100	100	10	510	1510	
	前期				10名程度	小論文 実技検査 面接 調査書 ※⑩					100	300	100		10	510	1510
	前期				20名程度	実技検査 面接 保健体育理論 ※⑪ 調査書 ※⑩					300	100	100	10	510	1510	
	前期				13名程度	小論文 面接 調査書 ※⑩					400		100		10	510	1510
	前期				7名程度	面接 ※⑫ 総合面接 ※⑫ 調査書 ※⑩							100 400		10	510	1510

【注意事項】

※① 「調査書」は、全体の学習成績の状況が4.5以上の者について5点加算します。

※② 「調査書」は、全体の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加算します。

※③ 「国語」は、「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」、「古典探究」を出題範囲とします。

※④ 「志望理由書・調査書」は、志望理由書、調査書を総合して教職への意欲等を評価し、0点～25点の範囲内で加算します。

※⑤ 「英語」は、リーディング・ライティング・リスニングを課します。

※⑥ 「数学」は、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cを範囲とし、数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」を、数学Bは「数列」を、数学Cは「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

※⑦ 「理科」は、「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から1科目選択してください。

※⑧ 「面接等」では、数学または理科に関する口頭試問を含みます。口頭試問では、「数学」、「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から1科目を選択してください。

※⑨ 「音楽理論」では、楽典について出題します。

※⑩ 「調査書」は、配点を10点とし、次の(1)(2)の合計とします。

(1)調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について5点加算します。(2)芸術に関する活動(作品展、コンクール受賞歴など)、体育・スポーツ活動、家庭科に関する活動、技術ものづくりに関わるこれまでの取り組み、あるいはボランティア活動等の多様な実績を評価し、0点～5点までの範囲内で加算します。

※⑪ 「保健体育理論」では、中学校・高等学校で学修する保健体育に関する知識や理解度を問います。

※⑫ 「面接等」では「面接」(100点)及び「総合面接」(400点)を課します。なお「総合面接」は、小論文、口頭試問を含みます。

【別表2】一般選抜 大学入学共通テスト・個別学力検査等の科目・配点等

◎令和8年度一般選抜において、本学が実施する個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は選抜の対象としません。

課程及びプログラム・専攻等	学力検査等の区分	募集人員	大学入学共通テスト科目パターン【別表1参照】	大学入学共通テスト配点合計	個別学力検査等の配点等										大学入学共通テスト・個別学力検査等配点合計			
					科目名等	国語	数学	理科	英語	小論文	実技検査	面接等	理論	調査書等		配点合計		
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	国語専攻	前期	12名	A	1000	国語 ※⑬ 志望理由書・調査書 ※⑭	400							25	425	1425	
		社会科専攻	前期	12名	A	1000	小論文 志望理由書・調査書 ※⑭				400				25	425	1425	
		数学専攻	前期	20名	B	1000	数学 ※⑮ 面接		400				100				500	1500
			後期	8名	B	1000	数学 ※⑮ 面接		400				100				500	1500
		理科専攻	前期	27名	B	1000	理科 ※⑯ 面接			400			100				500	1500
			後期	8名	B	1000	小論文 面接(口頭試問を含む。) ※⑯					100		400			500	1500
		英語専攻	前期	10名	A	1000	英語 ※⑰ 志望理由書・調査書 ※⑭				400				25	425	1425	
		音楽専攻	前期	8名	A又はB	1000	小論文 実技検査 音楽理論 ※⑱ 調査書 ※⑲					100	500		100	10	710	1710
		美術専攻	前期	5名	A又はB	1000	小論文 実技検査 面接 調査書 ※⑳					100	200	100		10	410	1410
		保健体育専攻	前期	12名	A又はB	1000	実技検査 面接 保健体育理論 ※㉑ 調査書 ※⑲						300	100	100	10	510	1510
		家庭専攻	前期	7名	A又はB	1000	小論文					300					300	1300
		技術専攻	前期	8名	A又はB	1000	面接(資料作成を含む。)							300			300	1300
書道専攻	前期	7名	A又はB	1000	小論文 実技検査 面接 調査書 ※㉒					100	500	100		10	710	1710		
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	前期	25名	A又はB	1000	小論文 面接 ※㉓					200		ABC		200	1200		
		後期	10名	A又はB	1000	小論文 調査書 ※⑲					200			10	210	1210		
	特別支援教育中等教育プログラム	前期	14名	A又はB	1000	小論文 面接 ※㉓					200		ABC		200	1200		
		後期	6名	A又はB	1000	小論文 調査書 ※⑲					200			10	210	1210		

【注意事項】

※⑬ 「国語」は、「現代の国語」、「言語文化」、「論理国語」、「文学国語」、「古典探究」を出題範囲とします。

※⑭ 「志望理由書・調査書」は、志望理由書、調査書を総合して教職への意欲等を評価し、0点～25点の範囲内で加えます。

※⑮ 「数学」は、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cを範囲とし、数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」を、数学Bは「数列」を、数学Cは「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

※⑯ 前期日程の「理科」及び後期日程の「面接(口頭試問を含む。)」では、「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から1科目を選択してください。

※⑰ 「英語」は、リーディング・ライティング・リスニングを課します。

※⑱ 「音楽理論」では、楽典及び音楽史・音楽理論全般について出題します。

※⑲ 「調査書」は、全体の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加えます。

※㉒ 「調査書」は、配点を10点とし、次の(1)(2)の合計とします。

(1) 調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について5点加えます。(2) 芸術に関する活動(作品展、コンクール受賞歴など)、あるいはボランティア活動等の多様な実績を評価し、0点～5点までの範囲内で加えます。

※㉑ 「保健体育理論」では、中学校・高等学校で学修する保健体育に関する知識や理解度を問います。

※㉒ 「調査書」は、国語の学習成績の状況が4.0以上の者について10点加えます。

※㉓ 「面接」は、ABCの3段階で評価し、その評価がCの者は不合格とします。

## IV. 学校推薦型選抜 I (大学入学共通テストを課さない)

※詳細については、9月上旬に学生募集要項(学校推薦型選抜)で公表します。

1. 出願期間 令和7年11月4日(火)～11月10日(月)
2. 試験期日 令和7年11月29日(土)・11月30日(日)
3. 合格者発表 令和7年12月10日(水)
4. 選抜方法等

各課程及びプログラム・専攻等の選抜方法は、下表のとおりです。なお、合格者の選考は、次のとおり行います。

- (ア) 小論文、実技検査、面接等の成績の合計得点順に合否を決定します。
- (イ) 合格最低点での同点者は全員合格とします。

5. 出願資格・要件等

各課程及びプログラム・専攻等の出願資格・要件等は、次のとおりです。**なお、同一生徒が学校推薦型選抜 I と学校推薦型選抜 II を併願することはできません。**

### (1) 初等教育教員養成課程 幼児教育プログラム

令和8年3月高等学校(特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。)卒業見込みの者(学校教育法施行規則第93条第3項の規定等により、令和7年度中に卒業を認められる者を含む。)で、次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし、教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。

募集人員	8名
選抜方法	大学入学共通テストを利用せず、推薦書、調査書、志望理由書、面接等により選抜します。
出願要件・推薦の条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</li> <li>・幼稚園教員となる強い意志をもつ者</li> <li>・合格した場合は、入学することを確約できる者</li> </ul>
その他	・各高等学校長が推薦できる人員は1校につき1名です。

### (2) 初等教育教員養成課程 小学校教育専攻プログラム(九州地区(九州・沖縄各県)対象の地域創生推薦選抜)

所在地が九州地区の高等学校(特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。)を令和8年3月卒業見込みの者(学校教育法施行規則第93条第3項の規定等により、令和7年度中に卒業を認められる者を含む。)で、次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たす者。さらに、学業成績、人物が優れているとともに、小学校教育についての熱意を持ち、将来、小学校教員に就くことに強い意欲を持つ者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。

募集人員	24名(九州地区に所在する高等学校を卒業見込みの者)
選抜方法	大学入学共通テストを利用せず、推薦書、調査書、志望理由書、小論文及び面接等により選抜します。
出願要件・推薦の条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業する高等学校の所在する県で小学校教員となる強い意欲、熱意、適性、資質・能力等を持つ者(本選抜は、各地域の創生には資質・能力の高い小学校教員の円滑な確保が望まれること等を背景として実施するものです。)</li> <li>・調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者(3年間を通して全ての教科・科目の評定で3未満のものがないこと)</li> <li>・高等学校在学中に、学校教育活動として、学校行事、生徒会活動、部活動、ボランティア活動等に積極的に取り組んだ者(3年間を通じた主体性や協働性、運営等での貢献、リーダーシップ、人間関係づくり等を評価する)</li> <li>・合格した場合は、入学することを確約できる者</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各高等学校長が推薦できる人員は1校につき1名です。</li> <li>・通信制高等学校等のうち、本校の所在地が九州地区外で、分校の所在地が九州地区内である場合は、分校の所在地が九州地区内であることを証明できる書類を提出してください。</li> </ul>

### (3) 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム

令和8年3月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定等により、令和7年度中に卒業を認められる者を含む。）で、次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし、教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。

募集人員	40名（音楽系科目：10名程度，美術系科目：10名程度，体育系科目：10名程度，家庭系科目：7名程度，技術ものづくり系科目：3名程度）
選抜方法	<b>（音楽系科目）</b> 大学入学共通テストを利用せず，推薦書，調査書，志望理由書，小論文，面接，実技検査及び音楽理論等により選抜します。
	<b>（美術系科目）</b> 大学入学共通テストを利用せず，推薦書，調査書，志望理由書，小論文，面接及び実技検査等により選抜します。
	<b>（体育系科目）</b> 大学入学共通テストを利用せず，推薦書，調査書，志望理由書，小論文，面接及び実技検査等により選抜します。
	<b>（家庭系科目）</b> 大学入学共通テストを利用せず，推薦書，調査書，志望理由書，小論文，面接及び口頭試問等により選抜します。
	<b>（技術ものづくり系科目）</b> 大学入学共通テストを利用せず，推薦書，調査書，志望理由書，小論文，面接及び総合面接（小論文，口頭試問を含む。）等により選抜します。
出願要件・推薦の条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校教員となる強い意欲，熱意，適性，資質・能力等を持つ者</li> <li>・調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</li> <li>・高等学校在学中に，学校教育活動として，学校行事，生徒会活動，部活動，ボランティア活動等に積極的に取り組んだ者</li> <li>・合格した場合は，入学することを確約できる者</li> <li>・小学校における音楽科教育，図画工作科教育，体育科教育，家庭科教育，技術ものづくり教育の一つ又は複数に関心があり，小学校における授業や学校活動等を通じた人間教育に強い関心を持つ者，又は，教科の枠にとらわれない自由な発想ができる広い視野を持つ者</li> <li>・体育系科目では，自らが受験を希望する特技種目の都道府県大会で，8位以内に入賞した実績がある者</li> <li>・体育系科目では，体育・スポーツ活動を継続しようとする意志が強固である者</li> </ul>

#### (4) 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム

令和8年3月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定等により、令和7年度中に卒業を認められる者を含む。**また、音楽専攻及び美術専攻については、令和7年3月以降高等学校を卒業した者を含む。**）で、志望する専攻の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし、教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。

音楽専攻	募集人員	7名
	選抜方法	大学入学共通テストを利用せず、推薦書、調査書、志望理由書、小論文、実技検査及び音楽理論等により選抜します。
	出願要件・推薦の条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</li> <li>・教員となる強い意志をもつ者</li> <li>・合格した場合は、入学することを確約できる者</li> </ul>
美術専攻	募集人員	5名
	選抜方法	大学入学共通テストを利用せず、推薦書、調査書、志望理由書、作品証明書、実技検査、面接及び美術理論等により選抜します。
	出願要件・推薦の条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</li> <li>・教員となる強い意志をもつ者</li> <li>・合格した場合は、入学することを確約できる者</li> </ul>
保健体育専攻	募集人員	6名
	選抜方法	大学入学共通テストを利用せず、推薦書、調査書、志望理由書、競技歴調査書、小論文、実技検査及び面接（口頭試問を含む。）等により選抜します。
	出願要件・推薦の条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</li> <li>・陸上競技、バレーボール、硬式野球、柔道、剣道の全国大会若しくはブロック大会（九州、中国、四国、関西等の都道府県大会よりも上位に位置づく大会を指す）に出場した者 ※ここでの「出場した者」とは、当該大会で実際にプレーしたことを指します。当該大会にエントリーされているだけでは、出願要件を満たしません。</li> <li>・教員となる強い意志をもつ者</li> <li>・合格した場合は、入学することを確約できる者</li> <li>・特技種目を継続しようとする意志が強固である者</li> </ul>
技術専攻	募集人員	2名
	選抜方法	大学入学共通テストを利用せず、推薦書、調査書、志望理由書、総合面接（小論文、口頭試問を含む。）等により選抜します。
	出願要件・推薦の条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</li> <li>・教員となる強い意志をもつ者</li> <li>・合格した場合は、入学することを確約できる者</li> </ul>
書道専攻	募集人員	3名
	選抜方法	大学入学共通テストを利用せず、推薦書、調査書、志望理由書、作品証明書、小論文、実技検査及び面接（口頭試問を含む。）等により選抜します。
	出願要件・推薦の条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上で、かつ「芸術（書道）」もしくは「学校設定科目（書道）」、いずれかの学習成績の状況が4.5以上の者</li> <li>・教員となる強い意志をもつ者</li> <li>・合格した場合は、入学することを確約できる者</li> </ul>

#### 6. 入学者選抜の実施教科・科目等

学校推薦型選抜Ⅰで、本学の実施する個別学力検査等は、【別表3】のとおりです。



【別表3】学校推薦型選抜Ⅰ 大学入学共通テスト・個別学力検査等の科目・配点等

◎令和8年度学校推薦型選抜Ⅰにおいて、本学が実施する個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は選抜の対象としません。

課程及びプログラム・専攻等		募集人員		個別学力検査等の配点等													
				科目名等	小論文	実技検査	面接等	理論	調査書等	配点合計							
初等教育 教員養成課程	幼児教育プログラム		8名	面接							200						
	小学校教育専攻プログラム		24名	小論文 面接							200	200	400				
	芸術・実技教育 プログラム	(音楽系科目)	40名	10名程度	小論文 ※① 実技検査 面接 音楽理論 ※② 調査書 ※③							100	250	100	50	10	510
		(美術系科目)		10名程度	小論文 ※① 実技検査 面接 調査書 ※③							100	300	100		10	510
		(体育系科目)		10名程度	小論文 ※① 実技検査 面接 調査書 ※③							100	300	100		10	510
		(家庭系科目)		7名程度	小論文 ※① 面接 ※④ 口頭試問 ※④ 調査書 ※③							100		100 300		10	510
(技術ものづくり系科目)		3名程度		小論文 ※① 面接 ※⑤ 総合面接(小論文、口頭試問を含む。) ※⑤ 調査書 ※③							100		100 300		10	510	
中等教育 教員養成課程	中等教育プログラム		7名	小論文 実技検査 音楽理論 ※⑥ 調査書 ※⑦							100	500		100	10	710	
			5名	実技検査 面接 美術理論 ※⑧ 調査書 ※⑨								100	100	100	10	310	
			6名	小論文 実技検査 面接(口頭試問を含む。) 調査書 ※⑦							100	300	100		10	510	
			2名	総合面接(小論文、口頭試問を含む。)									300			300	
			3名	小論文 実技検査 面接(口頭試問を含む。) 調査書 ※⑩							100	300	100		10	510	

【注意事項】

※① 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラムでは、共通の小論文を課します。

※② 「音楽理論」では、楽典について出題します。

※③ 「調査書」は、配点を10点とし、次の(1)(2)の合計とします。

(1) 調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について5点加算します。

(2) 芸術に関する活動(作品展、コンクール受賞歴など)、体育・スポーツ活動、家庭科に関する活動、技術ものづくりに関わるこれまでの取り組み、あるいはボランティア活動等の多様な実績を評価し、0点～5点までの範囲内で加算します。

※④ 「面接」(100点)及び「口頭試問」(300点)を課します。

※⑤ 「面接」(100点)及び「総合面接」(300点)を課します。

※⑥ 「音楽理論」は、楽典及び音楽史・音楽理論全般について出題します。

※⑦ 「調査書」は、全体の学習成績の状況が4.5以上の者について10点加算します。

※⑧ 「美術理論」は、美術史(日本・西洋美術史、近代デザイン史、映像メディア史及び現代までの美術)について出題します。

※⑨ 「調査書」は、配点を10点とし、次の(1)(2)の合計とします。

(1) 調査書の学習成績の状況が4.5以上の者について5点加算します。

(2) 芸術に関する活動(作品展、コンクール受賞歴など)、あるいはボランティア活動等の多様な実績を評価し、0点～5点までの範囲内で加算します。

※⑩ 「調査書」は、国語の学習成績の状況が4.0以上の者について10点加算します。

## V. 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

※詳細については、9月上旬に学生募集要項（学校推薦型選抜）で公表します。

1. 出願期間 令和7年11月 4日（火）～11月10日（月）
2. 試験期日 令和7年11月29日（土）・11月30日（日）
3. 合格者発表 令和8年 2月 9日（月）
4. 選抜方法等

各課程及びプログラム・専攻等の選抜方法は、下表のとおりです。なお、合格者の選考は、次のとおり行います。

（ア）大学入学共通テスト、小論文、実技検査、面接等の成績の合計得点順に合否を決定します。

（イ）合格最低点での同点者は全員合格とします。

5. 出願資格・要件等

各課程及びプログラム・専攻等の出願資格・要件等は、次のとおりです。**なお、同一生徒が学校推薦型選抜Ⅰと学校推薦型選抜Ⅱを併願することはできません。**

### （1）初等教育教員養成課程 人文・社会教育プログラム

令和8年3月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定等により、令和7年度中に卒業を認められる者を含む。）で、次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし、教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。

募集人員	10名
選抜方法	大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書、面接等により選抜します。
出願要件・推薦の条件等	<p><b>本学が指定した令和8年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験する者（8ページ【別表1】の「科目パターンA」を受験する者）</b>で次の条件をすべて満たす者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校教員となる強い意欲，熱意，適性，資質・能力等を持つ者</li> <li>・調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者（3年間を通して全ての教科・科目の評定で3未満のものがないこと）</li> <li>・高等学校在学中に，学校教育活動として，学校行事，生徒会活動（評価対象：役職ではなく，3年間を通じた主体性や協働性，運営等での貢献，教師や生徒間での調整や引率力，人間関係づくり等），部活動（評価対象：技能や大会等での成績ではなく，3年間を通じた主体性や協働性，運営等での貢献，教師や生徒間での調整や引率力，人間関係づくり等），ボランティア活動等に積極的に取り組んだ者</li> <li>・合格した場合は，入学することを確約できる者</li> </ul>
その他	・各高等学校長が推薦できる人員は1校につき2名以内です。

## (2) 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 家庭専攻

令和8年3月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定等により、令和7年度中に卒業を認められる者を含む。）で、志望する専攻の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし、教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。

募集人員	3名
選考方法	大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書及び面接（口頭試問を含む。）等により選抜します。
出願要件・推薦の条件等	<b>本学が指定した令和8年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験する者（8ページ【別表1】の「科目パターンA又はB」を受験する者）</b> で次の条件をすべて満たす者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書の全体の学習成績の状況が3.7以上の者</li> <li>・教員となる強い意志をもつ者</li> <li>・合格した場合は、入学することを確約できる者</li> </ul>

## (3) 特別支援教育教員養成課程 特別支援教育初等教育プログラム

令和8年3月高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項の規定等により、令和7年度中に卒業を認められる者を含む。）で、次の出願要件・推薦の条件等をすべて満たし、教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として高等学校長が責任をもって推薦できる者。

募集人員	5名
選考方法	大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書及び面接（口頭試問を含む。）等により選抜します。
出願要件・推薦の条件等	<b>本学が指定した令和8年度大学入学共通テストの全教科・科目を受験する者（8ページ【別表1】の「科目パターンA又はB」を受験する者）</b> で次の条件をすべて満たす者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</li> <li>・特別支援教育を担う教員となる強い意志をもつ者</li> <li>・合格した場合は、入学することを確約できる者</li> </ul>

### 6. 入学者選抜の実施教科・科目等

学校推薦型選抜Ⅱで、本学が指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目及び本学の実施する個別学力検査等は、【別表4】のとおりです。

## 【別表4】学校推薦型選抜Ⅱ 大学入学共通テスト・個別学力検査等の科目・配点等

◎令和8年度学校推薦型選抜Ⅱにおいて、本学が実施する個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は選抜の対象としません。

課程及びプログラム・専攻等		募集人員	大学入学 共通テスト 科目パターン 【別表1(P8) 参照】	大学入学 共通テスト 配点合計	個別学力検査等の配点等					大学入学 共通テスト・ 個別学力検査等 配点合計	
					科目名等	実技検査	面接等	理論	調査書等		配点 合計
初等教育 教員養成課程	人文・社会教育プログラム	10名	A	1000	面接 志望理由書・調査書 ※①		100		25	125	1125
中等教育 教員養成課程	中等教育 プログラム	家庭専攻	3名	A又はB	1000	面接（口頭試問を含む。）		200		200	1200
特別支援教育 教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	5名	A又はB	1000	面接（口頭試問を含む。） 調査書 ※②		400		10	410	1410

### 【注意事項】

※① 「志望理由書・調査書」は、志望理由書、調査書を総合して教職への意欲等を評価し、0点～25点の範囲内で加点します。

※② 「調査書」は、学習成績の状況が4.5以上の者について10点加点します。

## VI. 実技検査の内容について

※該当の課程及びプログラム・専攻等のみ記載しています。個別学力検査等は1科目でも受験しなかった場合は選抜の対象としません。科目や配点の詳細は9～17ページを確認してください。

- |   |            |              |         |          |         |
|---|------------|--------------|---------|----------|---------|
| ① | 初等教育教員養成課程 | 芸術・実技教育プログラム | (音楽系科目) | ・・・・・・・・ | P 19    |
| ② | 中等教育教員養成課程 | 中等教育プログラム    | 音楽専攻    | ・・・・・・・・ | P 20～21 |
| ③ | 初等教育教員養成課程 | 芸術・実技教育プログラム | (美術系科目) | ・・・・・・・・ | P 22    |
| ④ | 中等教育教員養成課程 | 中等教育プログラム    | 美術専攻    | ・・・・・・・・ | P 22    |
| ⑤ | 初等教育教員養成課程 | 芸術・実技教育プログラム | (体育系科目) | ・・・・・・・・ | P 23～24 |
|   | ◎          | 実技検査(体育)     | 受験上の注意  | ・・・・・・・・ | P 27    |
| ⑥ | 中等教育教員養成課程 | 中等教育プログラム    | 保健体育専攻  | ・・・・・・・・ | P 25～26 |
|   | ◎          | 実技検査(体育)     | 受験上の注意  | ・・・・・・・・ | P 27    |
| ⑦ | 中等教育教員養成課程 | 中等教育プログラム    | 書道専攻    | ・・・・・・・・ | P 28    |

# ① 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム (音楽系科目)

【前期日程】・【学校推薦型選抜Ⅰ】 共通

受験者は、以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。

## 【Ⅰ】歌唱

### 1. 小学校歌唱共通教材

以下の4曲より任意の1曲を選び、**暗譜**で演奏してください。

- |        |       |         |       |      |
|--------|-------|---------|-------|------|
| ・春の小川  | 文部省唱歌 | 岡野 貞一作曲 | (ハ長調) | 2番まで |
| ・とんび   |       | 梁田 貞 作曲 | (ハ長調) | 2番まで |
| ・おぼろ月夜 | 文部省唱歌 | 岡野 貞一作曲 | (ハ長調) | 2番まで |
| ・冬げしき  | 文部省唱歌 |         | (ヘ長調) | 2番まで |

〔注意事項〕

- (1) 小学校歌唱共通教材は指定された調で演奏してください。
- (2) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

### 2. 歌曲

以下の歌曲より任意の1曲を選び、**暗譜**で演奏してください。

- |              |          |        |      |
|--------------|----------|--------|------|
| ・浜辺の歌        | 成田 為三作曲  | (変イ長調) | 2番まで |
| ・北秋の         | 信時 潔作曲   | (ニ長調)  |      |
| ・Caro laccio | ガスパリーニ作曲 | (変ホ長調) |      |
| ・Sogno       | トスティ作曲   | (変ロ長調) |      |

〔注意事項〕

- (1) 歌曲を指定以外の調で演奏する者は、「志願票兼出願確認票」とともに伴奏楽譜を提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。
- (2) 演奏は、原語とします。
- (3) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

## 【Ⅱ】ピアノ

W.A.モーツァルト作曲の以下に指定した作品番号のピアノ・ソナタより任意の1曲を選び、その第1楽章を演奏してください。

KV280, KV283, KV309, KV330, KV332, KV457, KV545

〔注意事項〕

- (1) 繰り返しはすべて省略してください。
- (2) 演奏は、暗譜でなくても構いません。
- (3) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

## ② 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 音楽専攻

【前期日程】・【学校推薦型選抜Ⅰ】 共通

受験者は、以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。

### 【Ⅰ】共通音楽実技課題

※受験者は、3部門（1. 視唱，2. 声楽，3. ピアノ）を必ず演奏してください。

#### 1. 視唱

コールユーブンゲン第1巻，原書 No.1～No.59 までの中から，当日指定したものを演奏してください。

#### 2. 声楽

以下の歌曲より任意の1曲を選び，**暗譜**で演奏してください。

- |                            |           |        |
|----------------------------|-----------|--------|
| ・ Nina                     | 作者不詳      | (ホ短調)  |
| ・ Già il sole dal Gange    | スカルラッティ作曲 | (変イ長調) |
| ・ Aprile                   | トスティ作曲    | (ハ長調)  |
| ・ Vaga luna, che inargenti | ベッリーニ作曲   | (変イ長調) |

[注意事項]

- (1) 歌曲を指定以外の調で演奏する者は，伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。
- (2) 演奏は，原語とします。
- (3) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

#### 3. ピアノ

J.S.バッハ作曲の以下に指定した作品番号より任意の1曲を選び，演奏してください。

- ・ インヴェンション  
BWV776, BWV777, BWV778, BWV780, BWV782, BWV783,  
BWV784, BWV785, BWV786
- ・ シンフォニア  
BWV787, BWV788, BWV789, BWV790, BWV792, BWV793,  
BWV794, BWV795, BWV796, BWV797, BWV798, BWV799,  
BWV800, BWV801
- ・ 平均律クラヴィーア曲集 第1巻  
BWV846～BWV869 のフーガ
- ・ 平均律クラヴィーア曲集 第2巻  
BWV870～BWV893 のフーガ

[注意事項]

- (1) 繰り返しはすべて省略してください。
- (2) 演奏は，暗譜でなくても構いません。
- (3) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

(次ページへ続く)

## 【Ⅱ】選択音楽実技課題

※以下の1. から4. までの4種類の受験方法の中から**1つを選択して**受験してください。

### 1. ピアノで受験する者

L.v.ベートーヴェン作曲ピアノ・ソナタより任意の1曲を選び、その第1楽章又は終楽章を演奏してください。

ただし、Op.26, Op.27-1, Op.27-2 (第1楽章), Op.49-1, Op.49-2, Op.54, Op.79は除きます。

[注意事項]

- (1) 繰り返しはすべて省略してください。
- (2) 演奏は、暗譜でなくても構いません。
- (3) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

### 2. 声楽で受験する者

任意の歌曲（オペラ又はオラトリオのアリアを含む）を1曲、**暗譜**で演奏してください。

**ただし、【Ⅰ】共通音楽実技課題 2. 声楽で課題として指定した曲を除きます。**

[注意事項]

- (1) 伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。
- (2) 演奏は原語とし、演奏時間は4分以内とします。
- (3) 歌曲の調については自由ですが、オペラ又はオラトリオのアリアについては、原調で演奏してください。
- (4) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

### 3. 管楽器又は弦楽器で受験する者

任意の1曲又は、1つの楽章を選び演奏してください。

なお、選択できる楽器は以下の通りです。

フルート、オーボエ、クラリネット（標準サイズ B<sup>b</sup>管又はA管）、バスーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

[注意事項]

- (1) 繰り返しはすべて省略してください。
- (2) 試験の際に伴奏を付けるので、伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。無伴奏の場合は、伴奏楽譜の提出の必要はありません。
- (3) 演奏は、暗譜でなくても構いません。
- (4) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

### 4. 作曲で受験する者

4声体による和声課題（バス課題、ソプラノ課題又はその混合課題とし、非和声音を含む程度）を1題課します。

【試験時間 80分】



### ③ 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム (美術系科目)

#### 【 前期日程 】

構想画を課します。(読書感想画など)

- ※ (ア) 鉛筆, 水彩絵の具, 筆, パレット, 筆洗, 雑巾を持参してください。
- (イ) クレヨン等の彩色用具の持参, 使用も可能です。
- (ウ) 画架, 画板, 画紙, 画鋸は大学側で準備します。

#### 【 学校推薦型選抜Ⅰ 】

鉛筆画を課します。(自画像)

- ※ (ア) 鉛筆, 消し具等, 鉛筆画に必要な用具を持参してください。
- (イ) 鏡, 画架, 画板, 画紙, 画鋸は大学側で準備します。
- (ウ) 描画補助具として, はかり棒のみ使用を認めます。

### ④ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 美術専攻

#### 【 前期日程 】・【 学校推薦型選抜Ⅰ 】 共通

鉛筆画を課します。(静物)

- ※ (ア) 鉛筆, 消し具等, 鉛筆画に必要な用具を持参してください。
- (イ) 画架, 画板, 画紙, 画鋸は大学側で準備します。
- (ウ) 描画補助具として, はかり棒のみ使用を認めます。

## ⑤ 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム (体育系科目)

### 【前期日程】

受験者は、以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。

※ 27ページの「◎実技検査(体育)受験上の注意」も必ず読んでください。

#### 【Ⅰ】専門種目

**陸上競技，競泳，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球，ダンス，柔道，剣道**

上記の中から1種目を選択しますが、上記種目に該当する専門種目がない場合でも、必ず上記の種目の中から1種目を選択し、本学所定の競技歴調査書にその種目を記入し、志願票兼出願確認票とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した専門種目については、出願後変更できません。

#### 【Ⅱ】選択種目

4つの選択種目(走り幅跳び、柔道、剣道、創作ダンス)から2つの種目を選び、**マット運動と合わせて、合計3種目を受験してください。**ただし、上記の「【Ⅰ】専門種目」で選択した種目と同じ種目は選択できません。したがって、種目の選択にあたっては、下記の事項に留意してください。競技歴調査書に記入した選択種目については、出願後変更できません。

1. 専門種目で「陸上競技」を受験する者は、下の表に示す種目を受験してください。

種	目
マット運動(必須)	
柔道，剣道，創作ダンスの中から2種目	

2. 専門種目で「競泳，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球」のいずれかを受験する者は、下の表に示す種目を受験してください。

種	目
マット運動(必須)	
走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンスの中から2種目	

3. 専門種目で「ダンス，柔道，剣道」のいずれかを受験する者は、下の表に示す種目のうち、**専門種目以外の種目**を受験してください。

種	目
マット運動(必須)	
走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンスの中から2種目	

※ (ア) 専門種目で「ダンス」を受験する者は、選択種目で「創作ダンス」は選択できません。

※ (イ) 専門種目で「柔道」を受験する者は、選択種目で「柔道」は選択できません。

※ (ウ) 専門種目で「剣道」を受験する者は、選択種目で「剣道」は選択できません。

## 【 学校推薦型選抜Ⅰ 】

※ 27 ページの「◎実技検査（体育）受験上の注意」も必ず読んでください。

### ○ 特技種目

**陸上競技，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球，ダンス，柔道，剣道**

上記の種目の中から1種目を選択し，その競技歴を本学所定の競技歴調査書に記入し，志願票兼出願確認票等とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した特技種目については，出願後変更できません。ダンスで受験できるのは，芸術系ダンス（クラシックバレエ，およびコンテンポラリー・ダンス〔現代ダンス系，現代舞踊系〕）における成績を有する場合に限りです。スポーツ系ダンス（ブレイキン，ヒップホップ，ロックダンス，ガールズダンス）等の成績では出願できません。

★ 「競技歴調査書」には，受験者本人の競技大会及び試合への出場や成績を客観的に証明できる資料を添付することが**必要**です。ただし，**用紙はA4サイズとし，両面印刷で3枚以内（厳守）**とします。

例1 新聞・雑誌記事（本人の氏名や写真のあるもの）

※上記を利用する場合は，出版元に利用方法や利用の可否を確認してください。提出の際はA4用紙に切り貼りし，コピーしたものを作成してください。

例2 大会・試合・競技会記録（本人の競技成績や出場した記録が記載されているもの）

例3 当該競技主催団体が公印にて受験者本人の出場や成績を証明している文書

なお，競技会への参加申込書や登録選手一覧などの資料は，実際に競技したことを証明する資料にはなりません。また，段位認定証等，競技歴に直接関係ない資料は提出を要しません。

## ⑥ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 保健体育専攻

### 【前期日程】

受験者は、以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。

※27ページの「◎実技検査（体育）受験上の注意」も必ず読んでください。

#### 【Ⅰ】専門種目

**陸上競技，競泳，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球，ダンス，柔道，剣道**

上記の中から1種目を選択しますが、上記種目に該当する専門種目がない場合でも、必ず上記の種目の中から1種目を選択し、本学所定の競技歴調査書にその種目を記入し、志願票兼出願確認票とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した専門種目については、出願後変更できません。

#### 【Ⅱ】選択種目

4つの選択種目（走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンス）から2つの種目を選び、**マット運動と合わせて、合計3種目を受験してください。**ただし、上記の「【Ⅰ】専門種目」で選択した種目と同じ種目は選択できません。したがって、種目の選択にあたっては、下記の事項に留意してください。競技歴調査書に記入した選択種目については、出願後変更できません。

1. 専門種目で「陸上競技」を受験する者は、下の表に示す種目を受験してください。

種	目
マット運動（必須）	
柔道，剣道，創作ダンスの中から2種目	

2. 専門種目で「競泳，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球」のいずれかを受験する者は、下の表に示す種目を受験してください。

種	目
マット運動（必須）	
走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンスの中から2種目	

3. 専門種目で「ダンス，柔道，剣道」のいずれかを受験する者は、下の表に示す種目のうち、**専門種目以外の種目**を受験してください。

種	目
マット運動（必須）	
走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンスの中から2種目	

※（ア）専門種目で「ダンス」を受験する者は、選択種目で「創作ダンス」は選択できません。

※（イ）専門種目で「柔道」を受験する者は、選択種目で「柔道」は選択できません。

※（ウ）専門種目で「剣道」を受験する者は、選択種目で「剣道」は選択できません。

## 【 学校推薦型選抜Ⅰ 】

※ 27ページの「◎実技検査（体育）受験上の注意」も必ず読んでください。

### ○ 特技種目

**陸上競技，バレーボール，硬式野球，柔道，剣道**

上記の種目の中から1種目を選択し，その競技歴を本学所定の競技歴調査書に記入し，志願票兼出願確認票等とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した特技種目については，出願後変更できません。

★ 「競技歴調査書」には，受験者本人の競技大会及び試合への出場や成績を客観的に証明できる資料を添付することが**必要**です。ただし，**用紙はA4サイズとし，両面印刷で3枚以内（厳守）**とします。

例1 新聞・雑誌記事（本人の氏名や写真のあるもの）

※上記を利用する場合は，出版元に利用方法や利用の可否を確認してください。提出の際はA4用紙に切り貼りし，コピーしたものを作成してください。

例2 大会・試合・競技会記録（本人の競技成績や出場した記録が記載されているもの）

例3 当該競技主催団体が公印にて受験者本人の出場や成績を証明している文書

なお，競技会への参加申込書や登録選手一覧などの資料は，実際に競技したことを証明する資料にはなりません。また，段位認定証等，競技歴に直接関係ない資料は提出を要しません。

## ◎実技検査（体育）受験上の注意

(ア) 体育館シューズと屋外用シューズを持参してください。

(イ) 専門種目及び特技種目で使用するウェア，シューズ（野球及び陸上競技のスパイクを含む），剣道具，竹刀，スイミングキャップ，バット（金属可），グローブ等の個人用具は，すべて各自持参してください。

(ウ) ダンスで専門種目及び特技種目を受験する者は，自由なテーマに基づく創作作品（2分以上2分55秒以内）を用意し，音楽については，CD（CD-R），USBメモリを必ず用意してください。（ただし，無音も可。）

なお，作品用衣装がある場合は，着用して演技してください。また，CDについては，パソコンを除く一般の音楽再生機器（CDプレーヤー等）で再生できることを確認のうえ，持参してください。（CDが再生できない場合は，無音での実技となります。）

(エ) 選択種目で使用するウェア（選択種目の「柔道」における柔道衣を含む），シューズは，各自持参してください。

(オ) 選択種目の「剣道」で使用する防具，竹刀は，大学で用意しますが，自己のものを使用しても構いません。また，剣道着，剣道袴の用意は不要ですが，日本手ぬぐいは必ず持参してください。

(カ) 選択種目の「走り幅跳び」では，スパイクシューズの使用はできません。

(キ) 試技する際に着用するすべてのウェアの胸部にゼッケンとして白布（縦20cm×横30cm）を必ず縫いつけ，約1.5cm幅の黒字で受験番号の下3桁をできる限り大きな文字で記入してください。

記入の仕方：△○には受験番号下3ケタを書いてください。

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）・・・「初芸体△△△」

中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻・・・・・・・・・・「中体○○○」

ただし，次の場合は注意してください。

- ・柔道の場合（専門種目・特技種目・選択種目）は，背部のみに縫いつけてください。
- ・剣道の場合（専門種目・特技種目）は，タレの前面にかぶせるようにしてください。
- ・競泳（専門種目），ダンス（専門種目・特技種目）の場合は，何も縫いつけなくて構いません。

**以上のようなことが守られていなければ試技ができないこともあります。**

## ⑦ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 書道専攻

【前期日程】・【学校推薦型選抜Ⅰ】 共通

受験者は、以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。

### 【Ⅰ】臨書課題

用紙は画仙紙半切，半紙等を使用します。

### 【Ⅱ】創作課題

用紙は画仙紙全紙とします。

(自由に切って表現しても構いません。ただし，全紙1/4より大きい作品にしてください。)

※ (ア) 筆，墨，硯，下敷，文鎮，ペーパーナイフなど揮毫上必要な用具を持参してください。

用紙は当日配布します。また，持参した用紙は，使用できません。

(イ) 罫線が印刷された下敷は使用できません。

(ウ) 以下の条件をすべて満たす書籍に限り，字典の持ち込みを認めます。

① 書籍販売されていること。

② 古典作品を集字したもの。

③ 五書体全てを含んでいるもの。

④ 特定の人物の書を集字したものでないこと。(例 趙之謙字典，王鐸字典などは不可)

## Ⅶ. 私費外国人留学生選抜

※詳細については、12月上旬に学生募集要項（私費外国人留学生選抜）で公表します。

1. 出願期間 令和8年1月26日（月）～2月 4日（水）
2. 試験期日 令和8年2月25日（水）・2月26日（木）
3. 合格者発表 令和8年3月 6日（金）

### 4. 選抜方法等

- (1) 合格者の選考は、日本留学試験、英語検定試験の TOEFL（指定した課程及びプログラム・専攻等に限る。）の成績、本学が行う学力検査等の成績及び提出書類を総合して行います。
- (2) 順位は、日本留学試験、英語検定試験の TOEFL の成績及び本学が行う学力検査等の成績の合計得点の高得点順とします。
- (3) 同点者は、本学が行う学力検査等の成績の高得点者を上位とします。
- (4) 日本留学試験のうち、日本語は「読解」と「聴解・聴読解」の合計得点を使用します。
- (5) 面接の評価は、原則としてA・B・Cで評価し、その評価がCの者は不合格とします。  
ただし、中等教育教員養成課程中等教育プログラム美術専攻、中等教育教員養成課程中等教育プログラム書道専攻、特別支援教育教員養成課程特別支援教育初等教育プログラム、特別支援教育教員養成課程特別支援教育中等教育プログラムにあつては、面接の評価を点数化します。
- (6) 学力検査等

学力検査等は、下表のとおり行います。

課程及びプログラム・専攻等		学力検査等の内容	
初等教育 教員養成 課程	幼児教育プログラム	面接，小論文	
	小学校教育専攻プログラム	面接，小論文	
	人文・社会教育プログラム	面接，小論文	
	理数教育プログラム	数学※1又は面接（口頭試問を含む。）※2	
	芸術・実技教育 プログラム	（音楽系科目）	面接，実技検査，音楽理論
		（美術系科目）	面接，実技検査
		（体育系科目）	面接，実技検査
（家庭系科目）		面接（口頭試問を含む。）※2	
	（技術ものづくり系科目）	面接（口頭試問を含む。）※2，小論文	
中等教育 教員養成 課程	中等教育 プログラム	国語専攻	国語
		社会科専攻	面接（口頭試問を含む。）※2，小論文
		数学専攻	数学※1
		理科専攻	面接（口頭試問を含む。）※2
		英語専攻	面接（口頭試問を含む。）※2
		音楽専攻	面接，実技検査，音楽理論
		美術専攻	面接，実技検査
		保健体育専攻	面接，実技検査
		家庭専攻	面接（口頭試問を含む。）※2
		技術専攻	面接（口頭試問を含む。）※2，小論文
書道専攻	面接，実技検査		
特別支援 教育教員 養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	面接（口頭試問を含む。）※2	
	特別支援教育中等教育プログラム	面接（口頭試問を含む。）※2	

（次ページへ続く）



- ※1 初等教育教員養成課程理数教育プログラム及び中等教育教員養成課程中等教育プログラム数学専攻の「数学」は、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cを範囲とし、数学Aは「図形の性質」及び「場合の数と確率」を、数学Bは「数列」を、数学Cは「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。
- ※2 「面接（口頭試問を含む。）」の内容は、次のとおりとします。
- ・初等教育教員養成課程理数教育プログラム  
理科に関する理解力についての口頭試問を含みます。口頭試問では、「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から1つ選択します。
  - ・初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（家庭系科目）  
家庭に関する理解力についての口頭試問を含みます。
  - ・初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（技術ものづくり系科目）  
技術に関する理解力についての口頭試問を含みます。
  - ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム社会科専攻  
社会科に関する理解力についての口頭試問を含みます。
  - ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム理科専攻  
理科に関する理解力についての口頭試問を含みます。口頭試問では、「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から1つ選択します。
  - ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム英語専攻  
英語運用能力を確認するための英語による口頭試問を含みます。
  - ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム家庭専攻  
家庭に関する理解力についての口頭試問を含みます。
  - ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム技術専攻  
技術に関する理解力についての口頭試問を含みます。
  - ・特別支援教育教員養成課程特別支援教育初等教育プログラム及び  
特別支援教育教員養成課程特別支援教育中等教育プログラム  
学校教育における12年の課程又はそれに準ずる課程で身につけた基礎的な学力をもとにした、本課程の学生として求められる基礎的な能力についての口頭試問を含みます。

## 5. 出願資格

出願資格は次の各号にすべて該当する者とします。

- (1) 日本国籍を有しない者（日本の永住許可を得ている者を除く。）
- (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和8年3月修了見込みの者を含む。）若しくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者  
※詳細については、以下、文部科学省のホームページをご参照ください。  
([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/shikaku/07111314.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314.htm))
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が令和7年6月又は11月に実施する「日本留学試験」を受験した者（【別表5】参照）で、日本語の「総得点」が250点以上の者
- (4) 本学が指定した課程及びプログラム・専攻等においては、本学が指定する期間の英語検定試験のTOEFLを受験した者（【別表5】参照）

（次ページに続く）

【別表5】日本留学試験及びTOEFLについて

課程及びプログラム・専攻等		出題言語	日本留学試験 教科・科目	TOEFL	
初等教育 教員養成課程	幼児教育プログラム	日本語	B 又は D	×	
	小学校教育専攻プログラム		A 又は G 又は H	×	
	人文・社会教育プログラム		B	×	
	理数教育プログラム		E	×	
	芸術・実技教育 プログラム		(音楽系科目)	A 又は G 又は H	×
			(美術系科目)	A 又は G 又は H	×
			(体育系科目)	B 又は D	×
			(家庭系科目)	B 又は D	×
			(技術ものづくり系科目)	C 又は F	×
中等教育 教員養成課程	中等教育 プログラム		国語専攻	A	○
			社会科専攻	A	×
			数学専攻	E	×
			理科専攻	E	×
			英語専攻	B 又は C 又は D	○
			音楽専攻	A 又は G 又は H	×
		美術専攻	A 又は G 又は H	×	
		保健体育専攻	B 又は D	×	
		家庭専攻	B 又は D	×	
		技術専攻	C 又は F	×	
		書道専攻	A	×	
特別支援教育 教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	B 又は D	×		
	特別支援教育中等教育プログラム	B 又は D	×		

「日本留学試験教科・科目」欄のA～Hは、以下の教科・科目を表しています。

A	日本語，総合科目
B	日本語，総合科目，数学（コース1）
C	日本語，総合科目，数学（コース2）
D	日本語，理科（物理・化学・生物から2科目），数学（コース1）
E	日本語，理科（物理・化学・生物から2科目），数学（コース2）
F	日本語，理科（物理・生物），数学（コース2）
G	日本語，数学（コース1）
H	日本語，理科（物理・化学・生物から2科目）

注1 複数回受験した場合は、高い方の総合点を用います。

注2 日本留学試験の教科でどちらかを選択することになっている課程及びプログラム・専攻等の受験者でそのどちらも受験しているものは、得点の高い方を用います。

注3 「TOEFL」欄で○印は英語検定試験のTOEFLを課します。

注4 TOEFLの有効期間は、令和6年1月以降の試験成績を有効とします。

## Ⅷ. 障害等のある入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する障害のある者等（下記参照）で、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願の前に、あらかじめ本学へ相談してください。

必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

区 分	受験上及び修学上の配慮の対象となる者
視 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 点字による教育を受けている者</li> <li>○ 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者</li> <li>○ 視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者</li> <li>○ 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者</li> </ul>
聴 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者</li> <li>○ 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者</li> </ul>
肢 体 不 自 由	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者</li> <li>○ 両上肢の機能障害が著しい者</li> <li>○ 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者</li> </ul>
病 弱	慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
発 達 障 害	学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
そ の 他	上記の区分（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱・発達障害）以外で配慮を必要とする者

※ 配慮の対象となる者は、大学入試センターの受験案内に準じて設定しています。

※ 日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を持参して受験する場合も、試験場設定や他の配慮との関係から受験上及び修学上の配慮として申請することが必要となりますので注意してください。

### 1. 相談の期間

学 校 推 薦 型 選 抜	令和7年 9月12日（金） まで
一 般 選 抜	令和8年 1月 5日（月） まで
私費外国人留学生選抜	令和8年 1月 5日（月） まで

注1 期限後に受験上及び修学上の配慮を必要とすることとなった場合は、できるだけ早く3. の連絡先に問い合わせてください。

注2 申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する配慮を受けられないことがあります。

## 2. 相談の方法及び必要書類

下記事項を記載した文書（様式任意）に医師の診断書及び身体障害者手帳を有する者は、その写しを添えて申請（郵送可）してください。

- ア. 試験日程（学校推薦型選抜Ⅰ，学校推薦型選抜Ⅱ，一般選抜（前期日程），一般選抜（後期日程），私費外国人留学生選抜の別），志望課程及びプログラム・専攻等
- イ. 氏名，年齢，住所，電話番号
- ウ. 障害の種類・程度
- エ. 受験上及び修学上の配慮を希望する事項（大学入試センターから「受験上の配慮事項決定通知書」の交付を受けた者は，その写しを添付してください。）
- オ. 在籍（出身）学校の名称，及びその学校でとられていた具体的な修学上の配慮事項
- カ. 日常生活の状況

【本学ホームページ：障害等のある入学志願者の事前相談】

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/previous.html>

## 3. 連絡先・送付先

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1番1号  
福岡教育大学 入試課 TEL：0940-35-1235

## IX. 学生募集要項の公表

この要項に公表したことのほか、入学者選抜に関する細目を記載した学生募集要項を必ず確認してください。各学生募集要項及び出願に必要な書類等については、次のとおり公表します。なお製本した冊子はありませんので、本学のホームページ (<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/index.html>) から電子ファイル（PDF形式）をダウンロードしてください。

募集要項の種類	公表時期（予定）
学校推薦型選抜学生募集要項 ※1 《学校推薦型選抜Ⅰ・学校推薦型選抜Ⅱ》	9月上旬
一般選抜（前期日程・後期日程）学生募集要項 ※1	12月上旬
私費外国人留学生選抜学生募集要項 ※2	12月上旬

※1 学校推薦型選抜及び一般選抜（前期日程・後期日程）への出願方法はインターネット出願です。各学生募集要項で詳細を確認して、インターネットで出願してください。なお、インターネット出願については、本学ホームページの入試案内 >インターネット出願をご覧ください。

※2 私費外国人留学生選抜への出願方法はインターネット出願ではありません。私費外国人留学生選抜学生募集要項で詳細を確認して、所定の方法により出願してください。

## X. 入学者選抜試験個人成績の開示について

令和8年度入学者選抜に係る受験者の個人成績の開示に関する詳細は、各学生募集要項にてお知らせします。

(参考) 令和7年度教育学部入学試験状況

試験区分	課程及びプログラム・専攻等		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率		
学校推薦型選抜Ⅰ (大学入学共通テストを課さない)	初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム	8	40	40	10	10	5.0		
		小学校教育専攻プログラム	24	99	99	25	25	4.1		
	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	音楽専攻	7	15	15	7	7	2.1	
			美術専攻	5	13	13	7	7	2.6	
			保健体育専攻	6	18	18	8	8	3.0	
			技術専攻	2	4	4	2	2	2.0	
書道専攻	3		16	16	5	5	5.3			
小計			55	205	205	64	64	—		
学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを課す)	初等教育教員養成課程	人文・社会教育プログラム	10	31	31	10	10	3.1		
		芸術・実技教育プログラム	(音楽系科目)	35	7名程度	9	9	7	7	1.5
			(美術系科目)		5名程度	6	6	5	5	
			(体育系科目)		10名程度	21	21	12	12	
			(家庭系科目)		8名程度	12	12	8	8	
	(技術ものづくり系科目)		5名程度		5	5	3	3		
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	家庭専攻	3	11	11	3	3	3.7		
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	5	18	18	5	5	3.6			
小計			53	113	113	53	53	—		
学校推薦型選抜合計			108	318	318	117	117	—		
前期日程	初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム	12	29	28	13	12	2.4		
		小学校教育専攻プログラム	46	94	84	50	49	2.0		
		人文・社会教育プログラム	(国語系科目)	75	25名程度	36	32	28	28	1.3
			(社会系科目)		25名程度	43	39	34	34	
			(英語系科目)		25名程度	16	15	15	15	
		理数教育プログラム	50	109	102	55	52	2.2		
	芸術・実技教育プログラム	(音楽系科目)	65	13名程度	19	11	8	8	2.4	
		(美術系科目)		15名程度	11	6	6	6		
		(体育系科目)		20名程度	56	47	24	23		
		(家庭系科目)		12名程度	38	31	18	18		
		(技術ものづくり系科目)		5名程度	29	26	9	9		
	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	国語専攻	12	25	24	14	13	2.1	
			社会科専攻	12	25	22	14	13	2.1	
			数学専攻	20	35	35	21	20	1.8	
			理科専攻	27	53	51	29	29	2.0	
			英語専攻	10	22	20	12	12	2.2	
			音楽専攻	8	8	8	8	7	1.0	
美術専攻			5	6	5	5	5	1.2		
保健体育専攻			12	31	25	13	13	2.6		
家庭専攻			7	17	12	8	7	2.4		
技術専攻	8	16	16	8	8	2.0				
書道専攻	7	12	12	7	7	1.7				
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	25	65	59	28	28	2.6			
	特別支援教育中等教育プログラム	14	18	18	14	14	1.3			
小計			415	813	728	441	430	—		
後期日程	初等教育教員養成課程	小学校教育専攻プログラム	15	195	50	17	14	13.0		
		人文・社会教育プログラム	30	206	53	37	32	6.9		
		理数教育プログラム	15	121	35	17	16	8.1		
	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	数学専攻	8	68	19	9	9	8.5	
			理科専攻	8	66	21	11	7	8.3	
	特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	10	92	31	10	8	9.2		
特別支援教育中等教育プログラム		6	36	10	6	5	6.0			
小計			92	784	219	107	91	—		
前後期合計			507	1597	947	548	521	—		
総合計			615	1915	1265	665	638	—		

試験区分	課程及びプログラム・専攻等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率
私費外国人留学生選抜	初等教育教員養成課程 人文・社会教育プログラム	若干名	1	0	0	0	—
	中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 英語専攻	若干名	1	1	1	0	—
合計		若干名	2	1	1	0	—

※私費外国人留学生選抜については、実際に出願のあった課程及び選修・専攻・部のみ掲載しています。

(参考) 令和7年度教育学部入学試験の合格最高点・合格最低点及び合格者の平均点一覧

試験日程	課程及びプログラム・専攻等		募集人員	大学入学 共通テスト 配点	個別学力 検査等 配点	合計	合格最高点	合格最低点	平均点		
学校推薦型選抜Ⅰ (大学入学共通テストを 課さない)	初等教育教員 養成課程	幼児教育プログラム	8	—	200	200	—	—	171.8		
		小学校教育専攻プログラム	24	—	400	400	323	291	306.4		
	中等教育教員 養成課程	中等教育プログラム	音楽専攻	7	—	700	700	—	—	547.6	
			美術専攻	5	—	305	305	—	—	253.0	
			保健体育専攻	6	—	510	510	—	—	453.8	
技術専攻			2	—	300	300	—	—	—		
書道専攻	3		—	510	510	—	—	—			
学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを 課す)	初等教育教員 養成課程	人文・社会教育プログラム	10	1000	125	1125	846	700	766.6		
		芸術・実技教育プログラム	(音楽系科目)	35	7名程度	1000	410	1410	—	—	—
			(美術系科目)		5名程度						
			(体育系科目)		10名程度						
			(家庭系科目)		8名程度						
	(技術ものづくり系科目)		5名程度								
中等教育教員 養成課程	中等教育プログラム	家庭専攻	3	1000	200	1200	—	—	—		
特別支援教育教員 養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	5	1000	400	1400	—	—	1055.2			
前期日程	初等教育教員 養成課程	幼児教育プログラム	12	1000	205	1205	778	707	735.8		
		小学校教育専攻プログラム	46	1000	210	1210	932	742	786.0		
		人文・社会教育プログラム	(国語系科目)	75	25名程度	1000	325	1325	—	—	—
			(社会科系科目)		25名程度						
			(英語系科目)		25名程度						
	理数教育プログラム	50	1000	500	1500	1096	815	903.3			
	芸術・実技教育プログラム	(音楽系科目)	65	13名程度	1000	510	1510	—	—	—	
		(美術系科目)		15名程度							
		(体育系科目)		20名程度							
		(家庭系科目)		12名程度							
		(技術ものづくり系科目)		5名程度							
	中等教育教員 養成課程	中等教育プログラム	国語専攻	12	1000	425	1425	1108	925	984.5	
			社会科専攻	12	1000	425	1425	1160	975	1035.0	
			数学専攻	20	1000	500	1500	1077	894	982.5	
			理科専攻	27	1000	500	1500	1218	910	1018.5	
			英語専攻	10	1000	425	1425	1055	860	939.6	
			音楽専攻	8	1000	710	1710	—	—	1033.0	
			美術専攻	5	1000	405	1405	—	—	784.0	
			保健体育専攻	12	1000	510	1510	1123	900	1019.9	
家庭専攻			7	1000	300	1300	—	—	738.5		
技術専攻			8	1000	300	1300	—	—	743.3		
特別支援教育教員 養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	25	1000	200	1200	799	701	734.1			
	特別支援教育中等教育プログラム	14	1000	200	1200	783	610	696.4			
後期日程	初等教育教員 養成課程	小学校教育専攻プログラム	15	1000	210	1210	898	751	822.1		
		人文・社会教育プログラム	30	1000	225	1225	911	758	814.5		
		理数教育プログラム	15	1000	500	1500	1077	865	940.8		
	中等教育教員 養成課程	中等教育プログラム	数学専攻	8	1000	500	1500	—	—	1002.1	
			理科専攻	8	1000	500	1500	—	—	1038.4	
	特別支援教育教員 養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	10	1000	210	1210	920	767	820.5		
特別支援教育中等教育プログラム		6	1000	210	1210	—	—	714.7			

※合格最高点・合格最低点は募集人員が10名未満、合格者の平均点は募集人員が5名未満の募集単位については公表していません。

※追加合格者は含みません。

※前期日程の人文・社会教育プログラムにつきましては、試験科目毎に合格最高点・合格最低点・平均点が異なるため、公表していません。

※芸術・実技教育プログラムにつきましては、試験科目毎に合格最高点・合格最低点・平均点が異なるため、公表していません。

※私費外国人留学生選抜については公表していません。





# 大学所在地

〒811-4192

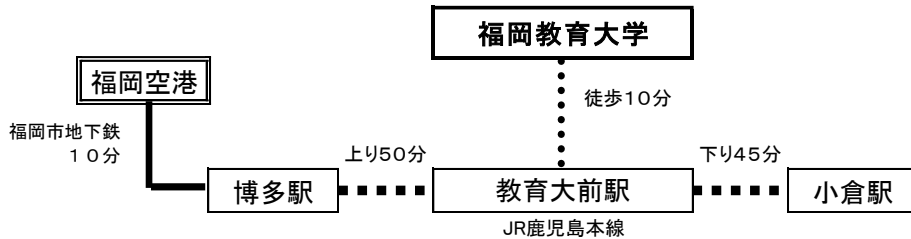
福岡県宗像市赤間文教町1番1号



## 【交通機関】

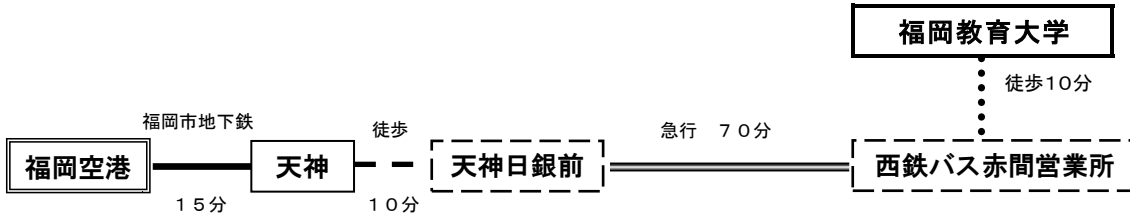
### ○JR利用の場合

- ・ JR鹿児島本線上り博多駅から普通電車で乗車（約50分）
- ・ JR鹿児島本線下り小倉駅から普通電車で乗車（約45分）



### ○西鉄バス利用の場合

- ・ 天神日銀前(19A) から西鉄バス赤間営業所行（急行）に乗車（約70分）



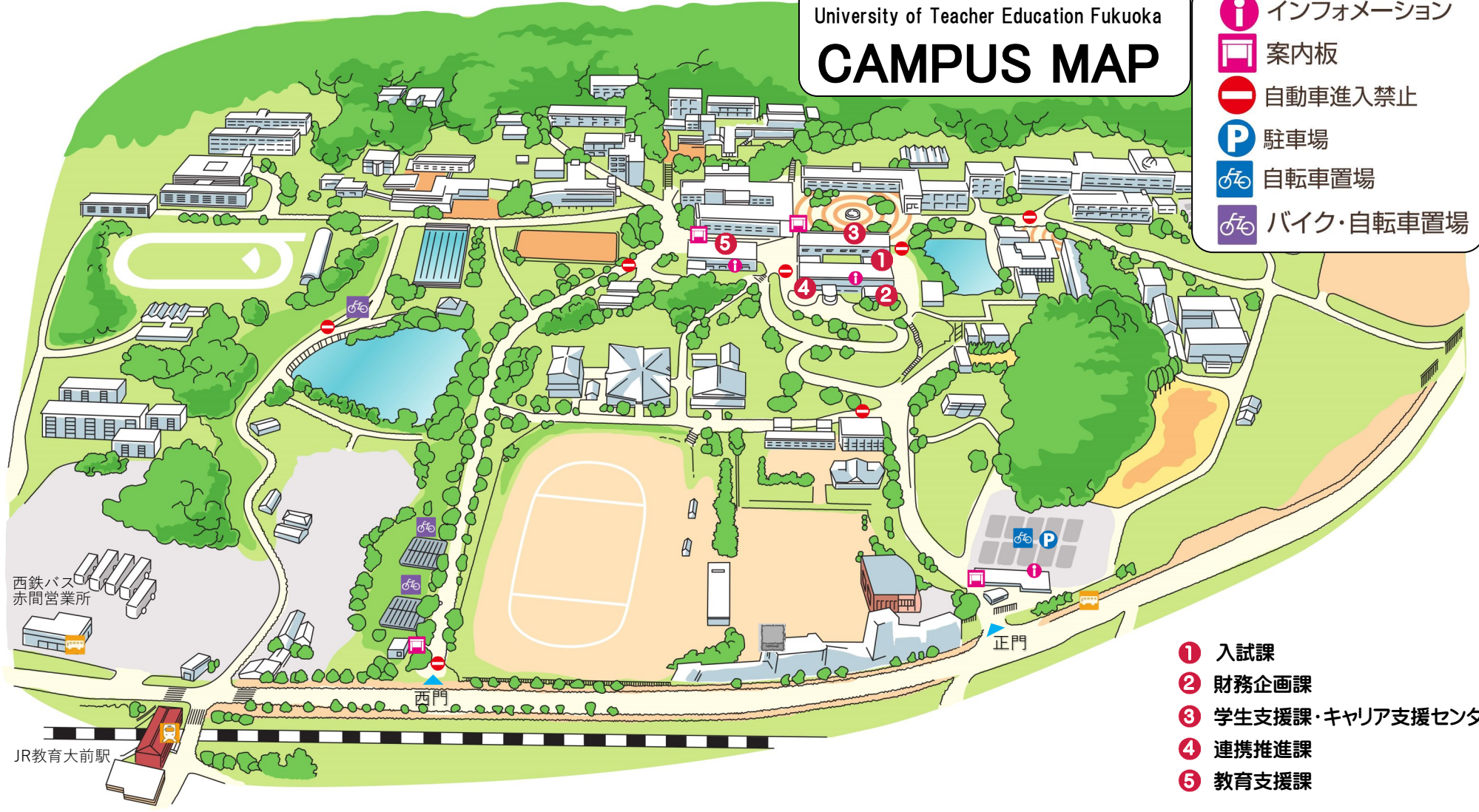
## 【周辺道路地図】



University of Teacher Education Fukuoka

# CAMPUS MAP

-  インフォメーション
-  案内板
-  自動車進入禁止
-  駐車場
-  自転車置場
-  バイク・自転車置場



- ①** 入試課
- ②** 財務企画課
- ③** 学生支援課・キャリア支援センター
- ④** 連携推進課
- ⑤** 教育支援課

## 福岡教育大学各種お問い合わせ先

- 授業, カリキュラム, 免許等について . . . . . TEL : 0940-35-1229 (教育支援課)
- 教育実習等について . . . . . TEL : 0940-35-1233 (教育支援課)
- 学生生活, 課外活動, 学生寮等について . . . . . TEL : 0940-35-1754 (学生支援課)
- 奨学金, 入学料, 授業料減免等について . . . . . TEL : 0940-35-1239 (学生支援課)
- 留学・国際交流について . . . . . TEL : 0940-35-1247 (連携推進課)
- 就職支援 (教職関係) について . . . . . TEL : 0940-35-1249 (キャリア支援センター)
- 就職支援 (企業, 公務員関係) 等について . . . . . TEL : 0940-35-1241 (キャリア支援センター)
- 授業料等の納入関係について . . . . . TEL : 0940-35-1222 (財務企画課)
- 入試全般 . . . . . TEL : 0940-35-1235 (入試課)